

受験教科事前登録制について

Point1

出願時に志願票で次の事項を登録します。

- ① 受験する教科名
- ② 地理歴史、公民と理科は受験する科目数
- ③ 別冊子試験問題の配付希望（数学②，外国語のみ）

★ 志願票の記入が終わったら、必ずコピーをとっておいてください。
Point2 の登録内容の確認が必要となります。

！ Check ！ 地理歴史と公民の扱い

Q. 受験教科の登録方法は？

A. 出願時は「地理歴史、公民」の1教科として登録し、その上で受験科目数のみを選択して登録します。

Q. 検定料の計算方法は？

A. 地理歴史と公民を合わせて1教科として数えます。例えば、国語、地理歴史、公民を受験する場合は右のようになります。

地理歴史と公民を合わせた10科目について、次の3つのうちから1つを選択して登録

A…1科目受験する
B…2科目受験する
X…受験しない

※ 例えば、「A」を選択した場合は、試験当日に、地理歴史と公民を合わせた10科目の中から自由に1つの解答科目を選択することができます。

国語…1教科
地理歴史 } 合わせて1教科として数える
公民 }
合計2教科と数えるので、検定料は12,000円

Point2

確認はがきが届いたら、Point1の①～③の内容が正しく登録されているか確認します。

★ 登録内容の訂正が必要な場合は、項目により、以下の様式を大学入試センターに送付してください。

締め切りは、11月8日(金)(消印有効)

- 氏名、連絡先等を訂正する場合 …………… 「氏名等変更・訂正届」
- 登録教科及び別冊子試験問題の希望を訂正する場合 …………… 「登録教科等訂正届」
※「登録教科等訂正届」を提出する際は「確認はがきのコピー」をはり付け、高等学校等卒業見込み者は在学している学校を経由して、それ以外の者は直接、大学入試センターに提出してください。

- ★ 記入・作成した届出様式は、必ずコピーをとっておいてください。
- ★ 訂正期間終了後は、受験教科及び受験科目数の訂正は一切できません。

Point3

試験当日は……

- 登録していない教科は受験できません！
- 登録した地理歴史、公民と理科の受験科目数は変更できません！

実施方法について

地理歴史、公民、理科

Point

「地理歴史、公民」及び「理科」は1試験時間で実施し、最大2科目を選択可能！

	2科目受験者	1科目受験者	
解答はじめ！ 9:30	第1解答科目 試験開始 (60分)★1		「2科目受験する」と登録した者は、遅刻者の入室限度(9:50)までに入室しないと、第1解答科目・第2解答科目の両方とも受験できなくなります。 ★1 前半の60分で解答する科目を、「第1解答科目」と呼びます。
解答やめ！ 10:30	第1解答科目 試験終了 答案回収・解答用紙配付 (10分)★2		
解答はじめ！ 10:40	第2解答科目 試験開始 (60分)★3	試験開始 (60分)	
解答やめ！ 11:40	第2解答科目 試験終了	試験終了	★3 後半の60分で解答する科目を、「第2解答科目」と呼びます。

地理歴史、公民、理科の受験に当たっての注意点

2科目受験登録者は、試験当日に1科目のみを受験することはできません！

「2科目受験する」と登録した場合、試験当日に、1科目のみを受験する(前半又は後半の1科目だけを受験する)ことはできません。同様に、「1科目受験する」と登録した場合は、試験当日に2科目を受験することはできません。

「地理歴史、公民」の問題冊子は、パッケージ化されたものが配付されます！

登録した受験科目数(1又は2科目)にかかわらず、全ての受験者にパッケージ化された「地理歴史と公民の2冊」が配付されます。試験当日は、登録した受験科目数にしたがって、地理歴史、公民を合わせた10科目の中から解答科目を選択することができます。

第1解答科目と第2解答科目の間の10分間は休憩時間ではありません！

2科目を受験する場合の試験時間は130分です。第1解答科目と第2解答科目の間の10分間は答案回収等に必要時間であり休憩時間ではありません。トイレ等の一時退室はできません。

試験時間中の所持品の取扱いについて

辞書・電卓等の機能の有無が判別しにくい「時計」は、使用できません！

【時計として使用できないもの】

辞書や電卓等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のもの

時計については、辞書や電卓等の機能が付いているかどうかの判別が難しいものを使用している場合、監督者が試験時間中に機能の有無を確認するために、解答を中断せざるを得ないことがあります。静穏な受験環境を保持するため、今年度から、辞書や電卓等の機能が付いているかどうか判別が難しいもの、キッチンタイマーは使用できません。

試験時間中に次のものを使用すると不正行為となります！

【使用すると不正行為となるもの】

「定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む。)」 「コンパス」 「電卓」 「そろばん」 「グラフ用紙」等の補助具や、「電子辞書」 「携帯電話」 「スマートフォン」 「ICレコーダー」等の電子機器類

不正行為を行った場合は、それ以後の受験はできなくなります。また、受験したすべての教科・科目の成績が無効となります。

★詳しくは、「受験案内」42・43ページの「受験に当たっての主な注意事項」を確認してください。

地理歴史、公民、理科の大学への成績提供

地理歴史、公民又は理科の試験時間において2科目を受験した場合は、大学からの請求に基づき、「2科目それぞれの得点とその合計点」又は「第1解答科目のみの得点」のいずれかを提供します。
成績の利用方法については、各大学の募集要項等であらかじめ確認してください。

独立行政法人大学入試センター事業第1課

問い合わせ先 TEL 03-3465-8600 (9:30~17:00 土・日曜、祝日、12月27日~1月6日を除く)
URL <http://www.dnc.ac.jp/>

ここがポイント

平成26年度 大学入試センター試験

～ 詳しくは「受験案内」で確認してください ～

独立行政法人大学入試センター

<http://www.dnc.ac.jp/>